

平成30年度

小樽地区の巻

事務局 小樽市立朝里小学校



小樽市小学校長会は、市内18校（昨年度末に学校再編により3校減）の校長で組織されている。今年度は、採用2名の新会員を迎え、4月10日に総会を開催し、活動方針や予算を決定するとともに、新年度の役員を選出した。

I 本年度の活動方針

本会は、校長としての使命と責任の重要性を自覚し、職能の向上に努めるとともに、組織の強化と活動の充実を図ることを基盤として、小樽市学校教育推進計画の基本理念である「心豊かに学び、ふるさとに夢と誇りをもち、たくましく生きる小樽の子どもの育成」の具現化を目指し、家庭・地域の信頼に応えることのできる小学校教育の推進並びに小樽市の学校教育の充実・発展に寄与することを目指して活動している。

私たちは、長年にわたる課題を克服しつつ、小樽市小学校教育の充実に向けて重点施策を中心に総力をあげて取組を進めてきた。

課題のひとつである「組織的な学校運営の推進」については、小学校長会として精力的に取組を進めたことにより、校内組織の整備等が確実に進み、校長の適切なリーダーシップの下、教職員が一丸となって取り組む望ましい学校運営が各校で進められている。

とりわけ、昨年度は、新学習指導要領の移行期を控え、新学習指導要領の趣旨を踏まえて適切な教育課程を編成するために各方面との情報交流を積極的に行い、校長会と後志教育局や市教委との共通認識を形成することができた。

その結果、外国語活動の先行実施に関わる教育課程の編成においては、2年後を見据えて市内の全小学校が足並みをそろえ、今年4月から3・4年生で年間35時間、5・6年生で年間70時間の外国語活動の

授業を実施することができ、大きな一歩を踏み出すことができた。

また、市内小中学校の校長で構成する市校長会において共通推進目標に掲げた「人材の育成」についても、市校長会主催研修会の開催等を通して、次世代を担うミドルリーダーを発掘することができたとともに、ライフステージ別による研修協議等を通じて、ミドルリーダーとしての自覚を促す効果も得ることができたなど、大きな成果を上げることができた。

今年度についても、研修会の対象や時期、方法などを整理し、これまでの成果を踏まえつつ、校長会として実施体制の組織化を進めていく。

さらに、一昨年からの継続目標「公開研究会の開催」は、各校がそれぞれの実態に合わせた取組を進めた結果、小樽市内の各学校では、公開研究会を開催することが当たり前になってきており、本市における教員一人一人の授業力向上の取組への大きな後押しとなっている。

小樽市の学校教育は、学校再編計画の進行途中にあり、市校長会として小中連携教育の推進を含めた中学校長会と歩調を合わせた取組が更に重要となっていてとともに、新学習指導要領の完全実施を見据え、後志教育局との意見交換、市教委との施策懇談のほか、後志地区の校長会との連携も深めていく必要があると考えている。

今後は、小学校長会の運営の在り方、中学校長会および道小との連携等を会員の自己評価に基づき振り返り、今後予想される

会員数の減少による組織改編後の運営をよりよいものにするため、活動を一層充実させる方向性を見いだしていきたい。

私たちは、今年度も、ベクトルを同じくし、一丸となって直面する教育課題の改善に努めるとともに、新学習指導要領の完全実施に向けた準備を精力的に進めること、組織改編による運営業務の効率化を進めることなど、新たな課題に向き合い、その解決に向けて校長の英知を結集して取り組んでいきたい。

II 活動の重点

1 活動方針

- ①校長の果たすべき役割を自覚し、指導性を発揮して、信頼と秩序に基づく学校経営の改善・充実に努める。
- ②教育情勢を迅速・的確に把握し、適切な対応を図るとともに、総力を結集して課題解決にあたる。
- ③新学習指導要領に基づいた教育課程の編成・実施とその評価・改善に努める。
- ④「ふるさとの地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる」研究活動を充実させ、学校経営を推進する。
- ⑤組織改編により、新しい課題に対応できる組織をつくり、教育諸条件の整備及び充実を図る。
- ⑥校長自ら職能の向上に努め、研鑽に励むとともに、教職員の資質能力の一層の向上に努める。
- ⑦中学校長会及び教育関係機関との密接な連携を図る。

2 重点施策

- ①共通目標の結果の検証及び共通目標（共通の取組）の推進
- ②平成30年度全連小研究協議会北海道大会（函館大会）に向けた研究体制、研究内容の構築と推進

③学校再編を見通した小学校長会の運営等についての検討と改善

④小樽市における特別支援教育の改善・充実

⑤コミュニティ・スクールの導入に向けた研修の推進

III 各部の活動方針

1 組織部

子どもが安心して日常生活を送ることのできる安全な環境をつくるため、小・中・高校及び関係諸団体などとの連携を密にし、子どもたちの健全育成並びに教育環境の充実や学校経営の改善に資する業務推進に努める。

2 研修部

全連小及び道小の教育研究大会に関する活動や学校経営に関わる研修活動の推進を通して、校長としての一層の職能向上を図る。

3 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、学校給食及び学校保健・安全の向上を図るとともに、会員及び教職員の福利厚生の実と親睦に努める。

IV 役員

会 長	仲倉 優	(花園小)
副 会 長	井村 文俊	(奥沢小)
	上泉 哲	(山の手小)
監 査	加藤 満幸	(幸小)
	山本 博之	(忍路中央小)
事 務 局 長	石山 慎人	(朝里小)
事務局次長	木村 俊夫	(長橋小)
会 計	大坂 充	(手宮中央小)
組 織 部 長	谷本 慎司	(銭函小)
研 修 部 長	銭谷 美毅	(桜小)
厚 生 部 長	若林 晋	(潮見台小)